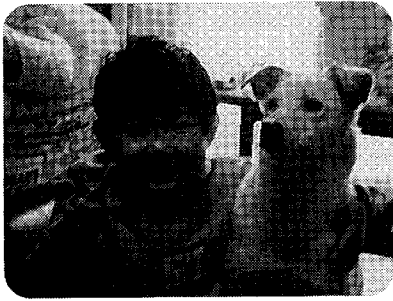
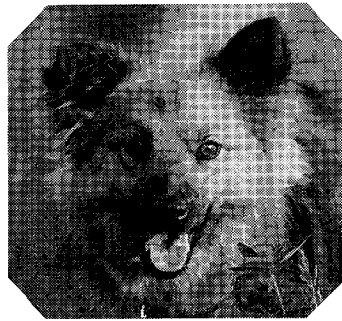




1996年クリスマスパーティにて、ジョニーのお兄ちゃん(トモキ君)と
大阪府 竹下ジョニー/1995年5月26日より
「...とてもやさしい子で、なくてはならない家族の一員です。我家の長女です。」



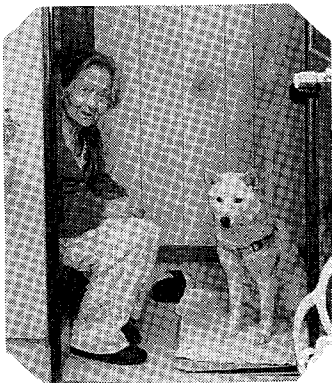
兵庫県 加藤 華/1993年9月1日より
「...我家の三女となり、3才を迎えてすっかり美しい大人になりました...」



兵庫県 岡田ジュン/1993年6月20日より
「主人と二人で目に入れても痛くない程可愛がっています。どこに行くのも一緒に海や川、キャンプなどにも行っています。少しでも多くの物や動物を見せてあげたいと思って...」

HAPPY HOME

アークから里親制度を通じて新しい家庭に迎えられた動物は、過去6年間で650匹以上に上ります。現在アークでは犬の里親になっていただいた方を対象に里親アンケートを実施しています。アンケートにお答えいただいた里親の方からは、どれも幸せいっぱいの動物とその家族の方々の写真が添えられており、アークに携わるスタッフ一同のいちばんの励みとなっています。今回は数あるレポートの中からほんの一部をみなさんにご紹介したいと思います。



兵庫県 岸本リン/1993年1月10日より
「...歩けない88才の母にもよくなつて、母の慰めにもなっております...」



大阪府
森田サマルカンド・ハミ/1995年5月20日より
「朝から晩まで一日中いっしょに暮らしています。姉妹いっしょなので、いつも仲良く遊んだり寝たりしています...」



大阪府
西口ゴロウ(左)/1995年2月4日より

「お昼は私のお布団ざぶとんに、夜は私のおふとんにいます...とてもかわいくなりましたからご安心ください。大事にしていますから...」



静岡県 萩じん/1995年2月12日より
「...我家は大人ばかりですが、じんが来てからというもの子供が一人できた様で、毎日のくらしに花がそえられた様に感じております。」



大阪府
久万田すず/1995年4月22日より
「家の中で自由に生活しています。すっかり家族の一員となり元気にしています。」



大阪府 西川ハナ・メグ/1996年3月7日より
「...ハナもメグもずい分慣れたように思います。」